

道徳だより

第 3 号

全校ごちゃまぜ道徳

みんなで合唱することの価値とは？

10月8日(木)、全校生徒(1～3年生・5組)が体育館に集まり、「全校ごちゃまぜ道徳」を実施しました。今回のテーマは「みんなで合唱することの価値とは？」(内容項目：相互理解、寛容)。事前アンケートの回答をもとに異学年ごちゃまぜのグループをつくり、サークル対話を通してそれぞれの思いや考え(納得解)を共有し合いました。



【1学年】 - 先輩や仲間と協力し、集団の輪と学校の伝統を受け継ぐ

- 「仲間と協力し、信頼を強めることが大切。合唱をすることによって仲間との協力意識やみんなで成し遂げたということが信頼を強めることに繋がる。」
- 「集団じゃないと合唱は作りあげることができないし、合唱を通じて話したことがない人のことも知ることができるという価値があると思いました。」
- 「仲間と協力することができたり、今まで繋がられてきた美香保中学校の伝統を私たちが繋げたりすることができると思います。」
- 「学校の一員として、協力して目標を達成していくのが大切。」
- 「一人で完成させるんじゃなくてみんなで努力して一つのもので作っていくこと。」

【2学年】 - 多様な視点を受け入れ、相互理解を日常や学校生活全体の高まりへつなげる

- 「合唱は、一人ではなくてみんなで創り上げるものなので、いろんな人の考えを受け入れる必要があります。音楽を通してみんなのことを知ることができたら、それは素晴らしい価値があると思います。」
- 「あんまり話したことがない人などを含めたみんなのことを理解(相互理解)することにつながります。理解したからこそ、その人との友情ができたり、深まったりし、それが他の合唱以外の面で活躍してくるともっと深い考えができました。」
- 「始まる前は一視点でしか考えられていっていませんでしたが、あとになり、様々な視点で考えられることができました。」
- 「合唱を練習するときだけでなく、練習の中での集団生活や学校生活が、今後の学校生活をより良いものにしてくれるところ。」
- 「最初は合唱は美しいものや感動するものなどのイメージが強かったです。しかし「一人で感動する」

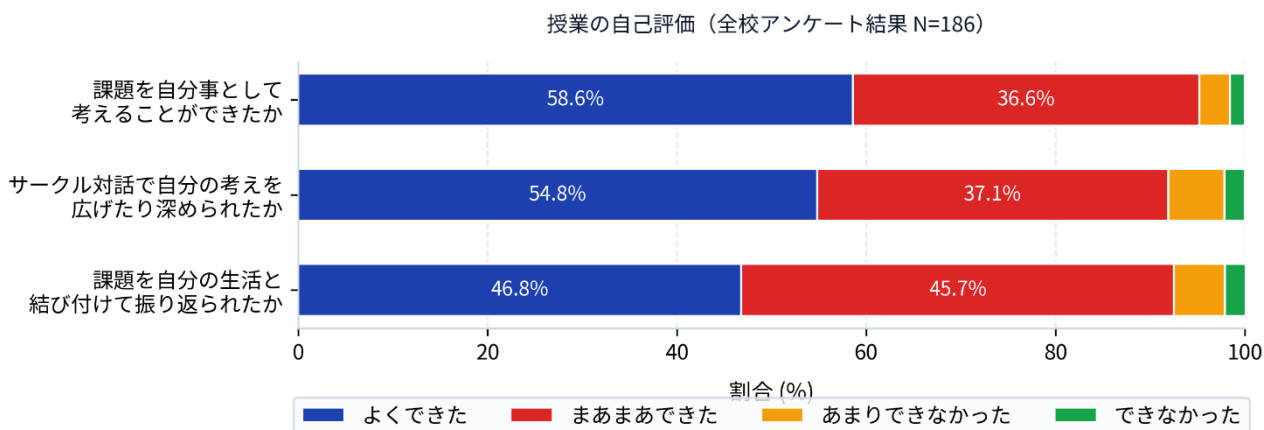
よりも「みんなで感動する」という価値があると思いました。」

【3学年】 - 個性と多様性の尊重、自己と集団の人的成長、人生や社会に通じる学びへ

- 「合唱に対して、一人ひとりが異なる意見や考え方を持っているからこそ、個性豊かな合唱が生まれると思った。」
- 「合唱を通じて様々な人の意見を聞いたり、逆に自分の意見を伝えたりすることで、責任や受け止める力など、様々な力が向上する。これが価値。」
- 「合唱をするときお互いが違う考えを持っていたとしても、互いを尊重し、自分の考えを持ってコミュニケーションをする価値。」
- 「合唱祭では歌の良さが学べるだけでなく、人との関わる大切さや、良さなども学べることが分かった。歌う練習だけでなく、人と人との協力する練習もできることが分かった。」
- 「同じ合唱という目標に向かって努力するので、普段の学校生活がより豊かになる。」

【5組】 - みんなで協力し助け合い、感動を届ける喜び

- 「お客さんに感動を伝えることができる。」
- 「合唱は皆で協力するから集団生活に似ている。」



▲ 図1：授業直後の自己評価アンケート結果（全校生徒 N=186）

今回の全校ごちゃまぜ道徳を通して、「合唱」という行事に込められた多様な価値を深く捉え直すことができました。今週からは、いよいよ来月に迫った合唱祭へ向けた各学年・各パートでの練習が本格化します。

道徳の授業で共有した「心をつなぐコミュニケーション力」や「相互理解・寛容の姿勢」、「粘り強く挑む力」を発揮し、自分たちにしかできない最高の歌声を体育館いっぱいに響かせましょう！

